

主な出来事

【内政】

- ガボン国民議会選挙及び地方選挙の実施
- ボンゴ大統領の入院

【外政】

- ボンゴ大統領によるギニア訪問
- ボンゴ大統領による仏語圏サミット出席
- ボンゴ大統領とアッラームミ中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）事務局長の会談

【経済】

- 中部アフリカ・マネーロンダリング対策グループ（GABAC）第7回本会合の開催
- 公務員数、昨年比で3%減少（9月1日現在）
- 2018年上半期の輸入額4%減
- 2018年上半期の経済状況（木材、銀行、貿易）
- 2018年上半期の公債務残高20.2%増
- ガボン国債の格付け「B」（フィッチ・レーティングス）

【内政】

1 ガボン国民議会選挙及び地方選挙の実施

6日、国民議会選挙第一回投票及び地方選挙が実施された。（8日付UN）

12日、ガボン選挙センター（CGE）は、6日に開催された国民議会選挙第一回投票の暫定結果（ガボン民主党（PDG）（与党）75議席（民主主義・社会統合連合（UDIS）及び価値観復興のための連合（RV）との選挙協力による2議席を含む）、民主党（LD）3議席、相続と近代性（RHM）1議席、新共和国のための連合（UPNR）1議席、社会民主党（PSD）1議席、無所属（IND）2議席）を発表した。（15日付UN）

27日、国民議会選挙第二回投票が実施された。6日の第一回投票において既に多くの候補が過半数を獲得したため、第二回投票では143議席中59議席が争われた。（29日付UN）

29日、CGEは国民議会選挙第二回投票を終えての暫定結果（ガボン民主党（PDG）（与党）98議席、民主党（LD）11議席、無所属（IND）8議席、価値観復興のための連合（RV）7議席、ガボン社会民主党（SDG）5議席、相続と近代性（RHM）4議席、社会民主党（PSD）2議席、国民連合（UN）2議席、自由な改革者のための中道党（CLR）1議席、新民主主義（DN）1議席、新共和国のための連合（UPNR）1議席、民主主義・社会統合連合（UDIS）1議席、共和国平等戦線（FER）1議席）

を発表した。(30日付UN)

2 ボンゴ大統領の入院

24日、サウジアラビアのリヤドでの経済フォーラム「未来投資イニシアティブ」に参加するために同国を訪問したボンゴ大統領は、同フォーラムの議論に参加することなく、ファイサル国王病院において入院していることが判明した。(24日付AFP, 31日付UN)

【外政】

1 ボンゴ大統領によるギニア訪問

2日、ボンゴ大統領は、ギニア独立60周年記念フェスティバルに参加するため、コナクリを訪問した。(3日付UN)

2 ボンゴ大統領によるファイナンシャルタイムズ・アフリカサミット出席

7日から11日にかけて、ボンゴ大統領はファイナンシャルタイムズ・アフリカサミット等に参加するために、ロンドンを訪問した。ボンゴ大統領は同サミットにおいて、ガボンの発展に関する自身のビジョンやガボンが国際金融分野の投資家等に提供する多様な機会について紹介した。(16日付UN)

3 ボンゴ大統領による仏語圏サミット出席

11日から12日にかけて、ボンゴ大統領はアルメニアのエレバンで開催された第17回仏語圏サミットに参加した。(11日付UN)

4 ボンゴ大統領とアッラームミ中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)事務局長の会談

19日、アッラームミECCAS事務局長は、7日にサントメ・プリンシペにおいて実施された国民議会選挙後の混乱に関連した自身のミッションの報告を行うために、現在ECCASの議長国を務めるボンゴ大統領と会談を行った。ECCAS事務局長はボンゴ大統領発カルヴァリョ大統領宛書簡を持参した上でサントメ・プリンシペを訪問し、同選挙後の政治危機による状況を調査した。(20日付UN, 21日付GMT)

【経済】

1 中部アフリカ・マネーロンダリング対策グループ(GABAC)第7回本会合の開催

9月29日、中部アフリカ・マネーロンダリング対策グループ(GABAC)第7回本会合がリーブルビルで開催され、中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)加盟国の専門家が同会合に出席した。同会合において、地域内のマネーロンダリングに関するいくつかの方策が特定され、テロ資金のマネーロンダリングの予防等を定める規定の諸措置の改定等について議論が行われた。(2日付GR)。

2 公務員数、昨年比で3%減少(9月1日現在)

9月1日現在の公務員数は昨年比で1971人減の85694人となった。開発、輸送、経済の各部門が今回の減少で最も影響を受けた(5日付GMT)。

3 2018年上半期の輸入額4%減

本年上半期の輸入額は、昨年同時期の輸入額5950億セーファと比較し、4%減の5698億セーファを記録した。フランス、中国、タイ等からの食料品輸入額の減少等による消費財の購入減が主な要因。(7日付GMT)

4 2018年上半期の公務員総給与額ほぼ平準化

2018年上半期の公務員総給与額は、前年同時期と比較し、0.2%増の3660億セーファを記録した。2017年7月以降、政府が実施している各種改革(公務員の自動的退職の導入、新規採用の凍結等)により、同時期の公務員総給与額の平準化が進んでいる。(8日付UN)

5 2018年上半期の経済状況(木材)

2018年上半期、木材産業は好調な業績を記録した。木材の輸出は、とりわけアジア市場における挽き立て材の国際的な需要の高まりを受け、9.7%増を記録した。また、挽割材(10.2%増)及び挽き立て材(24.6%増)は生産増となったものの、突板は3.8%減を記録した。さらに、合板の生産額は、昨年同時期と比較し33.7%減を記録した。(9日付UN)

6 2018年上半期の経済状況(銀行)

銀行業界全体の個人・法人部門の収支は、顧客からの預入額増により、昨年同時期と比較し、8.4%増の2兆4129億セーファを記録した。(16日付UN)

7 2018年上半期の経済状況(貿易)

本年上半期のガボンと主要国との貿易取引は、インド、インドネシア、英国との貿易増にも関わらず、中国、フランス、マレーシアとの貿易減により、昨年同時期比と比べ微減した。中国は、本年上半期の貿易額4279億セーファで、引き続きガボン第一の経済取引国である。(18日付UN)

8 2018年上半期の公債務残高20.2%増

2018年上半期の公債残高は20.2%増の4兆9298億セーファとなった。一方、昨年同時期比で公債返済額は、国内外の債務支払いにより、44.5%増となった。(5日付GMT, 11日付UN)

9 2018年上半期の海外主要10ヶ国からの購入額4.4%減

2018年上半期の海外主要10ヶ国からの購入額は、中国、フランス、マレーシアとの取引減により、4.4%減の3904億セーファとなった。(18日付UN)

10 ガボン国債の格付け「B」(フィッチ・レーティングス)

米国の格付け会社フィッチ・レーティングス社は、ガボン国債の格付けをBマイナスからBに格上げした。(11日付UN)

出典: PR(大統領府公式HP), UN(ユニオン紙), GM(ガボン・マタン紙), GN(ガボン・ニュース電子版ニュース), AFP, GA(Gabonactu.com), GR(ガボン・レビュー電子版ニュース), LG(ル・ガボン電子版ニュース), GE(ガボン・エコ電子版ニュース), AFP(フランス通信社), GL(ガボンリーブル電子版ニュース), AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス), LP(LOUP 紙), EN(エコ・ノール紙), GMT(Gabonmediatime)